

令和6年度 第3回 前原小学校コミュニティ・スクール委員会

令和6年 12月12日(木) 10:00~11:30

参加したCS委員：梶野さん、村澤さん、伊藤さん、貞平さん、安東さん、野崎さん、森田さん

学校参加者：校長 小柳 政憲 副校長 板澤 絢子

*議題提案 主任教諭 磯垣 梓 主幹教諭 佐藤 周平

1 学校長挨拶

寒い中ありがとうございます。学校では60周年記念持久走旬間を行っている。子供たちは、よく走っている。持久走自体は中休みのみであるが、自主的に放課後等で走っている姿を校長室から見るができる。現在は、インフルエンザで休んでいる児童はいない。残り2週間を元気に過ごさせたい。

2 議題

(1) けやきアートフェスタ(展覧会) 報告者：磯垣主任教諭

11月14日~16日の3日間でしたが無事に行事が終了した。受付等でPTAの皆さんにお世話になった。ありがとうございました。

画像を見せながら作品を手掛けるまでの説明

- ・全校で協力して作ったものがたくさんあった。またグループやチームでの作業も行った。
- ・低学年食べ物シリーズ。パーティーを意識させたかった。
- ・偶然の出来栄を生かした作品に挑戦した。
- ・図工専科の思いとして「生のものを触らせたい。」という思いがあったので、粘土の質感を体感させたり、多くの材料を使用したりして児童が作品に変化させていった。
- ・児童は、丁寧に作業を行っていた。
- ・6年生は、今まで習った学習の集大成として取り組ませた作品があった。
- ・先生方の作業についても画像に残し、体育館が通常の体育授業で使用する場所から作品の並ぶ素敵な会場に変化させていくところを展覧会に来校する方々に知らせたかった。
- ・6年生が会場の準備を手伝い作り上げていく喜びについても記録として残したかった。
- ・チョークアートは、児童が協力して仕上げた。
- ・6年生キッズガイドを行った。(学芸員の役割)総合的な学習の時間+国語の授業を絡めながらガイドの学習を行った。知らない方への説明を行っていたが、説明し終わった児童の表情が可愛かった。またガイドをするときの服装も考えていた。相手の様子を見ながらお客様に説明を行っていた。6年生も満足げであった。
- ・たてわりのチームで鑑賞の時間をとった。お手紙を書いて、相手の作品の感想を伝えた。
- ・子供たちの記憶に残る展覧会になったと思う。

梶野さん すごく良かった。今回の内容を先に聞いているとさらに良かったのではと思った。

貞平さん チョークアートを「消したくない」と言って、絵をよけながら歩いている人がいた。

村澤さん 巨大ケーキは、今後どうなる？

磯垣先生 周年行事に飾る予定である。

梶野さん ご質問はございますか。

無いようですので、けやきアートフェスタの報告について承認いたします。

(2) 学校評価中間報告 報告者：佐藤周平主幹教諭

本校の学校評価は、6つに分けて分析している。

スライドを使用して説明（重点項目をもとに説明）

①生活指導

- ・あいさつ 朝の挨拶は、校門、昇降口で月ごとに学年担当を決めて行った。
成果：朝の挨拶はよくできている。
課題：お客様に挨拶するのが少ない。放課後下校時で急いでいる時には挨拶ができない。
- ・靴揃え
成果：揃える児童もたくさんいる。
課題：全員に浸透させたいが、急いでいるときには難しい児童がいる
*どちらも小学校にいる間に積み重ねていくことで、着実に身に付いていくと思う。

②校内研究

- ・地域の教材の開発や地域人材の活用に力を入れている。
- ・昨年度は生活科や総合的な学習の時間で研究をしていたが、今年度は算数に絞って校内研究を行った。
- ・問に関わらせる工夫：ゲーム性のあるもの、違和感がある教材提示、比較させる、実生活に基づいて考えさせる
- ・対話的な学びを促す様々な工夫・・・意図的なペア交流、等質・異質のグループ構成

③体育

- ・持久走、短縄・長縄、体育委員の提案等で体力向上を目指している。

④ICT

- ・タブレットが一人一台になった。
- ・児童の活動の場が広がるように、学習活動を通して積み重ねている。
成果：個別最適な学習を目指して、児童一人一人が取り組むことができる。
課題：図形などの問題がPCには少ない。紙ベースでの学習活動を行う必要がある。

⑤周年行事

- ・代表委員による全校児童への呼びかけ動画。（活動内容の説明）

⑥特別活動

- ・たてわり班活動の様子を提示。（教室、校庭）
- ・職員室の先生方の様子。教員も協力しながら仕事をしている。

梶野さん 通りすがりの挨拶には、児童が恥ずかしそうにしている。挨拶当番だと言って嬉しそうに学校に登校している児童もいる。

森田さん 秋の行事が終わった後は、異学年が仲良く遊ぶ姿が放課後見られる。低学年が高学年の授業が終わるのを楽しみにしている。大きな行事の後は、子供たちの様子が変わる。現在高3の子。小学校当時は、行の中に自分の名前が書けない。丁寧にできなかった。今は、できるようになっている。タブレットの活用の仕方が変化しているように感じて、学校の取り組みがよいと思う。先生方の仲が良いように見える。周年Tシャツを着ていて、仲間意識があるように見えて良い。

伊藤さん 自分の息子が中学校で発表資料を作成していた。評価材料になっているのを見ると、子供の ICT の活用が重要。学習内容で子供が作業する内容に変化があるように思う。まなび〜では異学年で関わることが多い。他学年に関わる事に抵抗感がなくてよい。

梶野さん ICT の活用の仕方が重要。バランスが大切である。
学校全体のバランスがよい。ぜひ続けていただきたい。

森田さん 物の扱いについて課題だと感じている。1 2 月に入ってから物の扱いを放課後子ども教室と学童で分けることにした。
理由としては、「物の放置が多い」「誰に貸したか分からない」等。
「借りたものは必ず返す。」としていきたい。
見守りと学童と一緒に遊ぶ場合には、道具がミックスされて使用している。
ボールにもナンバリングしている。貸し出しで名前を書いている。
行方不明の道具がある。→児童が「また買えばいいじゃん」と言う。
○5, 6 年は、自主的にできている。
○3, 4 年が自主的にできない。
○1, 2 年は大人の声で片付ける。
行事が終わる緊張感が溶け、発散の場を求めて物の散らかりが目立つ。
遊具の破損が増える。

梶野さん しつけは、学校でするものじゃない。どうやって保護者に伝えていくかが課題。

森田さん 行事が終わると物の破損が減る。
子供にとって行事はストレスがかかることが分かる。

梶野さん ご質問はございますか。
無いようですので、学校評価の報告について承認いたします。

(3) 来年度の学校経営方針 提案者：小柳校長

資料参照

2 学期は、子供たちの様子をたくさん見ていただく機会があった。データでは測れない部分も成長しているのではないかと。先生方は児童の学力を向上させようとしている。保護者の方にも協力していただいている。小金井市から示された重点課題から来年度行うことや変更等を示している。

①授業変革の推進

- ・四角の中に入っているものが今年度始まっているもの。
- ・四角の中の網掛けの部分が来年度の取り組み予定。

☆3 年生以上の総合的な学習の時間に「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る単元の創設及び実施

②子どもの権利の尊重

<いじめに関する授業・人権教育等>

☆代表委員会を中心とした児童主催の児童会行事の実施（9 月を検討）

<不登校対策等>

☆代表委員会を中心とした児童主催の児童会行事の実施（再掲）

③CS としての地域連携の推進

<情報共有・情報発信>

☆地域連携担当分掌の新設で教職員の意識変革を推進

<地域の学習環境の活用等>

☆地域連携活動年間計画及び地域人材一覧表を作成し、持続可能な地域連携の構築

【変更点】

<基礎学力の定着・向上に向けて>

・朝のモジュール学習・・・授業にカウントされる学習

※ベーシックドリルで定着を見ると、AB層は伸びが見られるがCD層の児童の学力が底上げできていない。

※遅刻していると積み重ねられない。

☆朝学習・・・朝読書、言葉の意味調べ、スピーチ、対話練習、算数の活用問題、個に応じた課題練習等

安東さん 以前、「かなでまつり」というものがあった。異学年での交流があった。楽しそうであった。その日だけ使えるお金があった。

伊藤さん 自分たちでやることが良い思い出になっている。

貞平さん 9月ではなく、もっと早いほうが良いと思う。2学期は、行事が多い。子供の仲がつながるのではないかな。

伊藤さん 「夏休み明けに楽しみがある」のがねらいなのではないかな。夏休み中に取り組みを楽しみに待つことができる。

森田さん 「子どもの権利」について保護者への周知が必要である。以前、読み聞かせで「子どもの権利」について行った。分かりやすい言葉で伝えると子供も理解できた。SCのところに子供だけでいくことが増えた。1、2年生で困りごとをSCに相談する子は少ない。子供たちに基本的なことを噛み砕いて伝えることも必要なのではないかな。

貞平さん PTA イベントの関係で辻調理師専門学校もコラボする交流もあってもよい。

森田さん 授業変革について「個別最適な学び」は、ある程度基礎学力がついている高校生等に最適だと思う。授業に集中できる環境が必要である。すべて学校で行うことは難しいことも分かる。朝学習で喜怒哀楽を出せる活動があってもよい。不登校対策にもつながる。⇒児童の感情を見取る必要性

亀田さん CD層の底上げが難しいのがよく分かる。同じような問題の数字違いのものを繰り返し行う必要がある。ただし時間数の問題がある。

梶野さん 地域関連分掌はよい取り組みになると思う。学校の取り組みを回覧板にのせるとよいのではないかな。地域に発信するとよいと思う。

伊藤さん 学校の情報を回覧板や南側等の掲示板にのせるとよい。

梶野さん ご質問はございますか。
無いようですので、来年度の学校経営方針について承認いたします。

3 委員の皆様からの情報提供

貞平さん 1 1月30日 P連の会議があった。特別支援学校との交流、連携について話し合った。
1 2月22日 結城座の公演あり

野崎さん 2月23日 PTA イベント日の駐輪場について前原小の隣の学校の校庭を借りる方向で話が進んでいる。

伊藤さん まなび〜への参加が減った。外遊びに流れている子が多い。児童の感想が外遊びの感想になっている。まなび〜のスタッフに忘れ物を取りに行くことをお願いしている児童がいる。

村澤さん 登下校時の児童の様子について報告。
信号待ちのときに6年児童が自身の1年生の体験談（登校渋り）を語っていて、微笑ましい光景だった。

森田さん 先月は、放課後子ども教室の利用者が延べ3000人だった。子供たちは、待ち合わせしたり、約束したりして校庭を利用している。

4 その他

副校長より事務連絡

- ・今後の行事関係について
- ・4, 5回の学校運営協議会予定
- ・CSリーフレットについて
- ・早朝管理さんからの伝達：蛇口の水道止め忘れありについて。

梶野さん 以上で、第3回前原小学校コミュニティ・スクール委員会を終了します。